

年頭のあいさつ



宮之城町長
北村 信之

皆さん、明けましておめでとうございます。

平成17年の新しい年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は町政各般にわたる皆様のご協力により、町政の円滑な推進ができましたことに厚く御礼申し上げます。町政の執行者として「町民の声を町政に反映させる、住民参画・町民参画のまちづくり、自らが行う地域づくり」を基本姿勢に『躍動する希望の町づくり』を目指して、全力で取り組んで参ったところであります。



ご承知のとおり、我が国の経済は長引く不況の中で、景気回復の兆しはあるものの、依然として厳しい情勢にあります。

本町の経済情勢につきましても、県と同様に景気の低迷から大きな影響を受けている中、新しいまちづくりに向けて如何に進めていくかが大きな課題となつていところでもあります。

また、過疎・高齢化が進む中、中

山間地域にあつて、住民ニーズも多様化し、地域分権の推進、あるいは財政状況の悪化する中での行財政改革など自治体自らが解決しなければならぬ問題が山積みしておりますので、将来を見据えたしつかりとしたまちづくりを進めて参りたいと決意を新たにしております。

今、国・地方の税財政制度を見直すため、国庫補助金・地方交付税・税源移譲などいわゆる三位一体改革が大きく動き出しております。鹿児島県の財政危機とも相まって、県内の市町村にあつてはこれまでにない厳しい財政運営を迫られるものと予測いたしております。このような状況下ではありますが、町民の皆様の負託に応えるべく、職員と心を一つにして町政運営にあつていく所存であります。

本年3月には鶴田町・薩摩町と合併して新町『さつま町』へと生まれ変わりますが、現在、事務事業の移行作業が最終段階に入っております。町民の皆様が合併してよかつたと思えるような素晴らしい町づくりのために、新町建設計画に掲げられた『個性と知恵と協働で創造する豊かなま



ちづくり』の基本理念のもと、新町の将来像の『人々が織りなす元気で快適な活力あるまちづくり』を実現できるように、職員共々心新たに、一層の努力を傾注していく所存であります。

年頭にあたり、町政に対する倍旧のご支援とご協力をお願いし、本年が皆様にとりまして最良の年でありますようご祈念申し上げ年頭のあいさつといたします。

